

7月
23日
(土)

市民納涼まつり (落合公園)

春日井の夏の風物詩として広く親しまれている納涼まつりが、3年ぶりに開催されました。46回目となる今回は、感染症対策を行った上で開催され、盆踊りや氷の彫刻、納涼夜店などで大いににぎわいました。ファイナーレを飾る花火大会では、迫力満点の花火が春日井の夜空を彩り、子どもから大人まで、喜びに満ち溢れた笑顔が広がっていました。



長寿を祝い、日頃の感謝を伝えたい！



かすがい

起

承

転

結

市長 石黒直樹

No.1

組むべき課題は何か、従来とは異なる人生設計を立てていくことの必要性などについて述べています。

日本人の平均寿命(2021年)は、女性が87.57歳、男性が81.47歳で、今後伸びていくことが予想されています。ある研究では、日本で2007年に生まれた子どもたちの半数は100歳以上生きると推計されており、まさに今を生きる子どもたちが22世紀に向かって生活しています。

長寿の背景には、医療の発達、栄養状態や衛生環境の改善などがあり、日本社会は「人生100年時代」を迎えています。

「人生100年時代」とは、イギリスのリンダ・グラットン氏が著書『LIFES HIFT(ライフ・シフト)100年時代の人生戦略』(2016)で提唱した言葉で、人が100年間生きることを前提とした社会において、政府や企業、個人が取り

日本でも国において、2017年9月に、「人生100年時代構想会議」が発足し、超長寿社会のあり方についての議論が進められました。日本は今後さらに超高齢社会となります。超高齢社会は本市のみならず、日本全体で進んでおり、地方自治体、さらに国レベルでも取り組むべき社会課題と考えています。

9月。今年も市内各地で敬老にちなんだ行事が開催予定で、私のところへも案内が届いています。今年は9月19日が「敬老の日」。そして、9月15日から21日までが「老人週間」です。まずはこの機会に、長寿を祝い、日頃の感謝を伝えたいと思います。